

【担当教員名】 原 敬明	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・養肢・栄養・スポ・看護・社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

- 消費側から経済の諸理論と諸事情を理解する。理解を助けるため、自動車を事例に講義する。
- コミュニケーション能力を高め、チームプレーの出来る高度専門職を目指す訓練をする。そのため、講義参加者でチームを結成し、チーム討議を通じて、コミュニケーションスキルを高め、自分の長所を認識する。
- チーム討議と、翌週のスクリーン発表を通じ、講義参加学生一人ひとりが、その関心や分野の相違で、違う見方や意見を持つことを体得し、多くの人々の意見を聴く重要性を学ぶ。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

- 経済の基礎を理解する。
- 国内総生産の基礎を理解する。
- 経済分析理論の基礎を理解する。
- 国際経済理論の基礎を理解する。
- 金融政策と財政政策の基礎を理解する。
- 教育サービス、医療サービス、社会保障を考える。
- チーム討議に参加する。
- 短い文章で自分の意見を発表する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考
1	財とサービス	1.2.7.8	講義、チーム討議、短文作成
2	3つの経済主体	2.7.8	講義、チーム討議、短文作成
3	完全競争市場	1.4.6.7	講義、チーム討議、短文作成
4	需要曲線と供給曲線	1.7.8	講義、チーム討議、短文作成
5	経済成長の3要因	1.4.7.8	講義、チーム討議、短文作成
6	先進国・その秘密	1.4.7.8	講義、チーム討議、短文作成
7	為替相場と円高	4.7.8	講義、チーム討議、短文作成
8	通貨	5.7.8	講義、チーム討議、短文作成
9	財政政策と金融政策	5.7.8	講義、チーム討議、短文作成
10	インフレ・デフレ	5.7.8	講義、チーム討議、短文作成
11	主要産業動向と生活	6.7.8	講義、チーム討議、短文作成
12	社会保障と経済 教育と医療	6.7.8	講義、チーム討議、短文作成
13	最終レポート提出		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	使用しない			
参考書	必要に応じて示唆する			
その他の資料	オピニオン誌や新聞記事を利用・配布する			

【評価方法】	【限修上の留意点】
①毎回提出の短文の内容 ②チーム討議の評価 ③最終レポート…の3点で総合的に評価する。	受講生を327人に制限する。これを超えて受講希望がある場合は初回の席への先着順とする。初回の席は自由。2回目以降の席は指定する。最大6人で1チームを編成、チーム討議を行う。ほとんどの講義参加者が最少でも数人の新しい友人が出来ると思う。毎回名札着用のこと。